

T 細胞補助シグナルによる免疫制御

講師：石井 直人 教授【東北大学大学院医学系研究科 免疫学分野】

Prof. Naoto Ishii [Tohoku University, Graduate School of Medicine]

日時：平成 26 年 9 月 30 日（火）17:30 September 30th (TUE) from 17:30.

場所：医学教育図書棟 3 階 第 2 講義室

Lecture Room 2, Medical Education & Library Building 3F.

通常の曜日とは異なります。
ご注意ください。
This seminar will be on
TUESDAY.

T 細胞補助シグナル分子である OX40 (CD134) は、TNF 受容体型構造を有し、そのシグナルは NF κ B の活性化を介して T 細胞の生存に必須である。我々はこれまで、OX40 が抗原特異的 T 細胞の生存を促すことにより記憶 T 細胞の産生と維持に必須であること、一方で、過剰な OX40 シグナルが炎症性 T 細胞の過剰な生存を惹起することにより自己免疫性／炎症性疾患の病態形成に必須であることを証明してきた (*Nat. Rev. Immunol.* 4: 420, 2004、*Adv. Immunol.*, 105: 63, 2010)。本セミナーでは、炎症性疾患病態形成にかかわる OX40 の関与機構を概説するとともに、Th17 細胞の産生・維持における OX40 機能に関する最近の知見 (*J. Immunol.* 190: 5788, 2013、*Eur. J. Immunol.* in press) を紹介する。



◆担当：免疫学分野 阪口 薫雄 教授／Dept. Immunology, Prof. Nobuo Sakaguchi

◆レポート/Essay(阪口教授宛/Prof. Sakaguchi): nobusaka@kumamoto-u.ac.jp

◆レポート/Essay(CC:医学教務/Student Affairs Sec.):iyg-igaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp